



お元気ですか!

志村 たかよし です

第601号 2012年7月29日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

都市高速 晴海線

「晴海まちづくり協議会」で批判続出



当日配付資料

← 銀座方面

東雲方面 →

7月9日、「都市高速晴海線の整備について」を議題とした「晴海地区まちづくり協議会」がアート晴海で開催されました。

現在、豊洲出入口（写真のA部分）まで来ている「都市高速晴海線」を250億円もかけて晴海まで伸ばし晴海出入口（写真のB）を作るという計画で、「597号」でお知らせしたとおりです。

まちづくり協議会では「いまでも渋滞している晴海通り。より混雑を招く」「道路への負荷が大きくなり晴海はパンクしてしまう」「豊洲出入口で十分。晴海出入口は意味がない」「晴海大橋ができて排気ガスのおいさがなくなった。騒音、排気ガスが深刻になる」「予算が当初より増え無駄づかいだ」「環状2号線が全線開通してから検討してもいいのではないか」など批判の声が次々と上がりました。

また、「平成22年に中央区議会が高速晴海線計画の見直しを求める意見書を都に提出しているがどう受け止めているのか」との質問にたいして、都の職員が「意見書について聞いていない」と答えたため「中央区のことも知らないで説明できるのか」と厳しい批判の声が上がりました。

批判の声が上がる中で、中央区の岸田里佳子都市整備部長は「すでに晴海まで事業許可が下りている。反対してもできてしまう」などと議論に冷水をかけ、都を擁護するような発言をしました。区民の立場に立つべき区職員の発言として問題だと思えます。



明石小の外観は以前のデザインを生かしています



空が広々とした25mの屋上プール。

明石小学校建築現場視察



自然光が入る体育館。中央小より広いです。

7月12日、建築中の明石小学校と中央小学校への議会の視察に参加しました。

やはり復興小学校の「落ち着き」はなくなっていました。



屋上の太陽光パネル



復興小学校の階段手すり（左）と窓ガラス（右）の再利用



「意見」「要望など、お気軽に「連絡ください」(35336—6306)

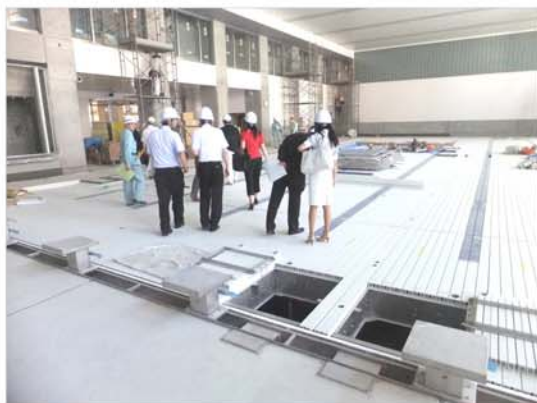


以前の面影がなくなった中央小の外観です。



講堂を少し大きくしたような体育館の現場
中央小学校はヘルメットをかぶっての視察なので間に合うのかなと心配になりました。

中央小学校建築現場視察



プールの底は可動式でこの床が底になります。



8億円もかけた可動式の屋根を装備した屋上校庭。児童たちの声が反響しないか心配です。

ブログもごらんください

志村たかよしワールド

検索